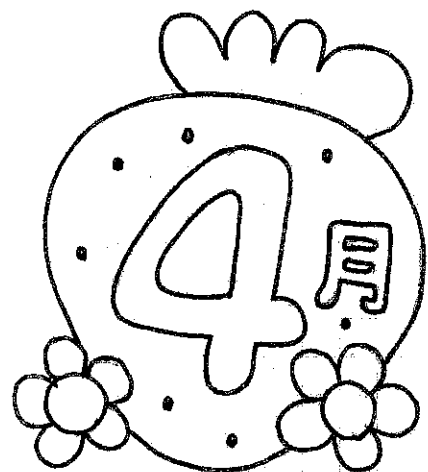
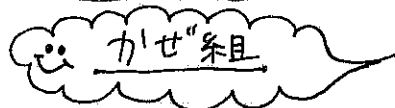




かぜ・そら・たいよう クラスだより



ふか見糸組さんの仲間へリッパ

かせ組は進級した12名と入園した2名、合わせて14名でスタートしました。1保育室は3階になり、そら・たいよう組と一緒に過ごすようになり、環境が大きく変わりました。進級入園してすぐの頃は不安な表情を浮かべていた子どもも1ヶ月も経てばすっかり3階での生活に慣れ、保育室のおもちゃで友達と楽しく遊んだり活動に見通しを持って過ごす姿もあります。まずは「洗たく物を袋にへんよう」「トイレのスリッパは使ったら元の場所に戻そう」など簡単に出来る身の回りのことを丁寧に伝えていき毎日繰り返す中で出来ること、分かることが増えていくよう見守っていきたいと思います。

いろいろなことに挑戦を

かせ組になり自分の持ち物が増えました。進級して少し経った頃、子どもたちに宝箱（黄色のお道具箱）のり・クレパス・ハサミの紹介をしました。1つずつ見せながら説明していくと子どもたちの目もキラキラして「早く使いたい!」「いつある?」と、興味がいっぱいの表情でした。1日、のりを使うことに挑戦し、使い方を伝えると真面目な顔で、「先生もう見せて大丈夫?」と1回ずつこれでもいいか、質問してくる子どもやダイナミックに手にのりを塗さんつけて「出来たー!」と満足そうな子ども、のりを使うこと1つにしても個性豊かな姿がありました。また新しいリボンを持って、お散歩にいくことも楽しんでます。「歩いて楽しいな!」とたくさん感じてもらえるように園周りをぐるっと歩いてたまたまに何たり御茶屋や北里中学校にも行ったりしました。興味いっぱいの子たちは何かを見つける度に立ち止まり子どもたちでおしゃべりタイム「なにかな、辿り着かない」と思う保育者をよそにみんなの顔は笑顔いっぱい、好奇心がいっぱいという感じです。子どもたちの感じたこと、ドキドキしたこと、言いたいこと、興味のあることをたくさん見つけ気持ちをかきおこしていきたいです。

ご入園・ご進級 おめでとうございます。ドキドキワクワクの新しい1年がスタートしました。其時溢れている子どももいれば、新しい環境に戸惑いと不安を感じている子どももいます。1ヶ月が経ち新しい生活に少しずつ慣れて、友だちや保育者との関わりを楽しむ姿が増えてきました。春の自然を感じ、戸外での活動や季節の制作を楽しんでいきたいです。1年間よろしくお願いします。

たいようぐみ



進級おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。いよいよ一番上のクラスになり、生活の中でお兄さん、お姉さんになってきたと感じることも増えてきました。自分たちが見本になるんだという気持ちは子どもそれぞれに感じているようですが、まだまだ甘えなくなったり、「聞いて、聞いて!」とかわいらしい一面も見られます。一年間を通して、様々な行事やイベントがありましたが、「おもしろい」「たのしい」「もっとやりたい」と皆で楽しめるように過ごしていきたいと思っています。

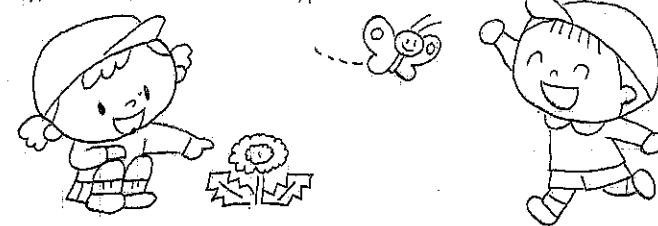
4月にはれんげつみやイースターと行事もありました。

れんげつみ

たいようぐみになったら行けるということで去年から楽しみにしていました。バスに乗り、しばらくいくと大きな広沢池が見えてきました。池を見て、「大きい」「すごい」「ここサリガニいる?」と感想を言っていました。今年は去年に比べ、れんげの花が少なかったようですが、前日の雨で泥んこになるのもかまわずにれんげをつみに行き、自分で作ったれんげ入れに大切にに入れていました。中には花より虫の子どももいて、草に止まっているテントウムシをつかまえ、観察していました。

イースター

トイレットペーパーと折り紙と新聞で卵を作りました。そらぐみの時にはカチャカチャのカプセルで元々丸の形でしたが、今回は自分で卵の形に整えてみました。はさみで切りこみを入れ、内側に折りこみ入りますが、固く、力をこめないと丸くならないので、とても難しかったです。好きな模様を描きながら、卵として見立てて大切に扱っていました。



新年度が始まり、最初の頃は進級した喜びの反面、緊張していた様子の子どもたちでした。しかし、一週間もしたら、少しずつ緊張が緩み始め、お互いの思いを出し合い、トラブルになることやあまの元気の良さに、子どもたちについていくのに必死なくらいでした。みんな、保育者に話したいことがいっぱいあるようで、「せんせい!」「せんせい!あんなあ...」と保育者の耳がいくつあっても足りないくらいです。どんな活動にも意欲的で、お話ししたい気持ちと同じくらい、「やりたい、やりたい」と期待している子どもたちです。なんでも意欲的な気持ちも活きて、今年度は、昨年度まであまりできなかったワキンワをできるだけ楽しみ、食材や食べることに興味につなげてほしいと思っています。また、園外にも積極的に、可能な限り出かけて、いっぱい身体を動かしてあそんでほしいと思います。身体だけでなく、指先も使って、身近なものを使って、制作も楽しんでほしいと思っています。野菜の栽培も、今、子どもたちと、何を育てようかと、相談中です。かせ組の時の栽培かとても楽しかったようで、「トウモロコシがいい!」「ナスがいい!」など、期待しているようです。これから、一年間、子どもたちと一緒に、毎日、楽しく過ごしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

☆今月は...☆ 園庭、屋上、保育室で過ごすことが多かった4月。園庭であることも伝えると、階段も足早に下りて、玄関まで一直線です。園庭では、子ども同士で、「おにごっこはう!」と語りあい、鬼ごっこを楽しむ姿があります。よく見ては、たの鬼ごっこではないようです。子どもたち独自のルールがあるようで、急に鬼ごこのルールが変わったり、ひとりの子もかおと鬼もしていたり、保育者はついていくだけで精いっぱいですが、面白く、何よりも子どもたちかとても楽しそうです。鬼ごこの他には「てんとうむしさがえ」と糸綱と虫カブとスコップを持って虫探しもしました。ダンゴムシを見つげると大興奮!! 散歩に出た先でも、虫探しをしています。虫が少なくなる夏から楽しみます。あとは、てんが下駄は必須で、ホリタリワも楽しんでます。一番上まで登れて喜び、海や、登りたい気持ち、やってみたい気持ちはあるのですが、もしできなかったら...怖い...など心の葛藤があるようです。友だちに刺さるも受けて、登ろうとしています。来月も、活動的に過ごしていきたいと思っています。